

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の中間実施状況の概要の公表 （令和3年度分）

1. 認定の日付

令和3年12月24日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社アルファパーチェス

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和3年12月～令和5年12月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社アルファパーチェスは、デジタル化が遅れ、非効率であった日本の事務消耗品、事務備品等をはじめとしたロングテールの間接材について、MRO (Maintenance Repair & Operations) 領域の基幹システムをクラウド上で維持・運用し、その機能も拡張することによって、日本のサプライチェーン全体の効率化を進めながら、同社も売上成長と販売間接費比率の削減を実現することを目指している。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和3年度の実産性（ROA）は順調に向上（基準比+1.73%pt）している状況である。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和3年度は有利子負債／CFが▲1.5倍となり、経常収支比率が101.6%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

令和3年度においては、事業適応計画の認定後の令和3年12月において、同社でクラウドに移行した最初の基幹システムである電子商取引プラットフォームの機能強化に係る投資を実施した。

商取引プラットフォームのサービス変革は計画の途中であるが、売上高販管費率は2.7%減となっており、引き続き、目標達成に向けて事業適応計画を実施していく。